GM維持管理推進委員会委員 殿

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局　大石　直豪

第40回 GM維持管理推進委員会議事録

１．開催日時　令和7年7月9日（水）　15時00分～16時00分

２．開催場所　Zoom

３．参加者　（敬称略）

委員長	吉開　守
委　員	井上　好道
同	松村　孝
同	松島　誠二
同	清水　壱浩
同	荒木　勇輝
同	手嶋　泰三
ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	竹中　史朗
代　理	森本　雅樹
事務局	大石　直豪

合計10名

欠　席	萩野　豊明
同	山下　俊哉

議事経過

初めに事務局より開催宣言と、本日の出欠状況について報告があった。

その後、吉開委員長より、「総会で茨木企画官より講演いただいた内容にもあったが、6月上旬に国土強靭化計画がまとまり、前回の国土強靭化計画では5ヵ年で15兆円だったものが今回は20兆円強の予算が確保され、そのうちライフライン関係で10.6兆円となっており維持管理に予算配分された。また、水道管の老朽化対策を進めるには現状より80%料金を上げなければならないとする試算もあり、改築更新にはコストが掛かることが市民に浸透しつつあると思う。ただし、優先すべきは大口径管など急所施設とされているが、GMも重要な急所施設となり得ることを継続して訴えていきたい。」と挨拶があり、議題に入った。

議題１：令和7年度 委員会活動状況について

事務局より、資料に基づき、令和7年度 委員会活動状況について詳細な説明があった。

（１）活動状況に関する補足説明

・過去10年間にわたり県ごとの研修会を180回以上行ってきているが、研修会開催によって更新需要に変化があった効果があったかなどの評価を加えていきたい。
・国総研のGM調査表について解説があり、令和7年度も継続して調査が行われる見込み。
・道路陥没事故の2,600件/年は、道路表層のたわみや軽微なものも含まれているが、GMの540件/年もの事故は決して軽微なものではなく、数字の大小の比較評価ではない。
・調査結果の公表は8月以降を予定されており、公表されるまでは外部へ口外はしないこととする。

（２）活動状況に関する質疑

・既設GM1,700万基との調査結果は、当工業会の推定値と近似値と捉えて良いか？
（回答）台帳の電子化が進んでいない自治体もあるのが実態であり、管路延長距離から算出している回答も含まれていると思われる。

（３）その他

・次年度のマンガ広報誌を動画化するにあたって、動画化にするコマ、追加・更新すべき内容について、荒木委員と事務局が中心となり連携して進めることとなった。

以上により、議題1を終えた。

議題２：下水道展に関する情報の共有について

事務局より、資料に基づき、下水道展に出展する会員会社ブースに掲出する工業会共通パネル、管診協との共催で行う研修会について説明があった。

以上により、議題2を終えた。

以上により本日の議事を終え、井上副委員長より「改築更新数をいかに増やしていくかという議論を継続しているが、市民認知も高まっている中で、今までと違う角度でのアプローチも試行していく必要もあるかと思う。」と挨拶があり、委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

令和7年7月9日

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会

GM維持管理推進委員会委員長　吉開　守　吉開